

彩の国資源循環工場サーマルリサイクル施設更新工事

環境影響評価調査計画書

令和2年10月

オリックス資源循環株式会社

目 次

第1章 事業者の名称及び住所	1-1
第2章 対象事業の目的及び概要	1-1
1 対象事業の名称	1-1
2 対象事業の目的	1-1
3 対象事業の実施区域	1-1
4 対象事業の規模	1-4
5 対象事業の実施期間	1-4
6 対象事業の実施方法	1-5
第3章 調査項目	3-1
1 環境影響要因の把握	3-1
2 環境影響評価項目	3-1
第4章 調査方法	4-1
1 大気質	4-3
2 騒音・低周波音	4-10
3 振 動	4-16
4 悪 臭	4-21
5 水 質	4-25
6 土 壌	4-28
7 動 物	4-31
8 植 物	4-36
9 生態系	4-39
10 景 観	4-41
11 自然とのふれあいの場	4-44
12 電波障害	4-48
13 廃棄物等	4-50
14 温室効果ガス等	4-51

第5章 地域の概況	5-1
1 社会的状況	5-1
(1) 人口及び産業の状況	5-1
(2) 土地利用の状況	5-3
(3) 河川及び湖沼の利用並びに地下水の利用状況	5-6
(4) 交通の状況	5-10
(5) 学校、病院、その他の環境保全についての配慮が特に必要な施設及び住宅の分布状況	5-13
(6) 下水道、し尿処理施設及びごみ処理施設の整備の状況	5-19
(7) 法令等による指定及び規制等の状況	5-21
2 自然的状況	5-56
(1) 大気質、騒音、振動、悪臭、気象その他の大気に係る環境の状況	5-56
(2) 水質、底質、水象その他の水に係る環境の状況	5-94
(3) 土壌及び地盤の状況	5-110
(4) 地形及び地質の状況	5-115
(5) 動物の生息、植物の生育、植生、緑の量及び生態系の状況	5-118
(6) 景観、自然とのふれあいの場の状況	5-119
(7) 文化財その他の生活環境の状況	5-126
(8) 一般環境中の放射性物質に係る環境の状況	5-128
(9) その他の事項	5-135
第6章 環境の保全についての配慮事項	6-1
1 公的な計画及び指針との整合性	6-1
2 回避または低減の配慮を図るべき地域または対象域	6-11
3 対象事業の立地回避が困難な理由	6-14
4 対象事業による影響の回避または低減措置の検討	6-15